


再評価結果（平成16年度事業継続箇所）

担当課：近畿地方整備局都市整備課
担当課長名：新階 寛恭

事業名 とよなかきしべ 豊中岸部線	事業区分 街 路	事業主体 大阪府
起終点 自：大阪府吹田市春日4丁目 至：大阪府吹田市桃山台4丁目	延長 0.9km	
事業概要 新環状ラインを形成する主要幹線道路であり、吹田市中心部に位置する千里ニュータウンから発生する自動車交通の円滑化を目的とし、混雑する府道豊中摂津線のバイパスとして整備をしている。		
H元年度事業化	S42年度都市計画決定 (S54年度変更)	H元年度用地着手 H11年度工事着手
全体事業費	約56億円	事業進捗率 75% 供用済延長 0km
計画交通量	26,379台/日	
費用便益分析結果	B/C (事業全体) 6.4 (残事業)	総費用 (残事業)/(事業全体) /69億円 (事業費) /67.8億円 (維持管理費) /1.0億円
	総便益 (残事業)/(事業全体) /443億円 (走行時間短縮便益) /422.3億円 (走行費用減少便益) /13.8億円 (交通事故減少便益) /6.8億円	基準年 平成15年
事業の効果等 ・安全な生活環境の確保（当該区間の自動車交通量が1000台/12h以上かつ歩行者交通量100人/日以上） ・国土・地域（日常活動圏中心都市へのアクセス向上が見込まれる）		
関係する地方公共団体等の意見 ・地元市などから事業の早期整備が望まれている。		
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 ・混雑度・交通量とも増加傾向にあり依然として混雑している。		
事業の進捗状況、残事業の内容等 ・再々評価時点において、進捗状況は用地82%、工事49%となっている。		
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 ・平成18年度供用にむけて事業推進に努める。		
施設の構造や工法の変更等		
対応方針	事業継続	
対応方針決定の理由	・以上の状況を勘案すれば、当初から事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。	
事業概要図	計画交通量：26,379台/日	
		

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。